



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社テクノアソシエ
コード番号 8249 URL <http://www.technoassocie.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森谷 守

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 松田 之宏

TEL 06-6459-2129

四半期報告書提出予定日 2020年11月6日

配当支払開始予定日

2020年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	32,894	18.2	331	69.9	431	63.8	193	73.8
2020年3月期第2四半期	40,228	3.7	1,099	33.3	1,190	37.0	739	41.9

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 257百万円 (432.7%) 2020年3月期第2四半期 48百万円 (97.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	10.40	
2020年3月期第2四半期	39.68	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	62,484	47,896	74.5	2,495.97
2020年3月期	65,027	47,907	71.6	2,498.31

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 46,534百万円 2020年3月期 46,578百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		14.00		14.00	28.00
2021年3月期		14.00			
2021年3月期(予想)				14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	11.3	1,000	54.9	1,200	50.2	700	54.4	37.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	20,036,400 株	2020年3月期	20,036,400 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期2Q	1,392,528 株	2020年3月期	1,392,258 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	18,643,989 株	2020年3月期2Q	18,641,277 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、操業停止や部材供給不全による生産活動の停滞、対面サービスや耐久財の需要減少が起こり、多くの国・地域で経済活動が低迷しました。中国など一部の国で経済活動回復の動きがみられましたが、新型コロナウイルス感染収束の状況は各国でばらつきがあり、先行きの不透明感が続いています。わが国経済につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により景気が大きく悪化しましたが、一部外需の回復や外出制限措置の緩和などにより回復の兆しが見られます。

このような環境のもと当社グループは、国内外に構築した営業体制と、品質保証・技術開発・製品コスト低減を担う営業支援機能を組み合わせ、提案力の向上に努めるとともに、グループ内の体質強化にも取り組みました。また、災害や感染症などのリスク対応力を向上させる一方、社内外コミュニケーションへのIT技術導入により、国内外の注力市場・主要顧客との取引を拡大させる活動に注力してまいりました。

こうした状況の中、新型コロナウイルス感染症の影響による顧客の需要減少により、当第2四半期連結累計期間の売上高は32,894百万円と前年同四半期比7,333百万円の減収、営業利益は331百万円と前年同四半期比768百万円の減益、経常利益は431百万円と前年同四半期比758百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は193百万円と前年同四半期比545百万円の減益となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2020年7月30日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、2020年10月30日公表の「第2四半期連結業績予想と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,539	16,864
受取手形及び売掛金	19,671	17,425
電子記録債権	4,071	3,677
商品及び製品	8,289	8,267
仕掛品	403	301
原材料及び貯蔵品	153	109
その他	823	945
貸倒引当金	△18	△20
流動資産合計	49,935	47,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,518	4,353
土地	3,827	3,821
使用権資産(純額)	975	872
建設仮勘定	118	164
その他(純額)	1,939	1,955
有形固定資産合計	11,379	11,167
無形固定資産		
	574	544
投資その他の資産		
投資有価証券	1,694	1,863
その他	1,465	1,361
貸倒引当金	△21	△22
投資その他の資産合計	3,138	3,202
固定資産合計	15,091	14,914
資産合計	65,027	62,484
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,552	10,410
短期借入金	384	244
未払法人税等	366	267
賞与引当金	635	637
リース債務	343	316
その他	1,373	1,365
流動負債合計	15,656	13,243
固定負債		
退職給付に係る負債	44	35
資産除去債務	204	206
リース債務	861	786
その他	354	317
固定負債合計	1,464	1,345
負債合計	17,120	14,588

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,001	5,001
資本剰余金	5,128	5,128
利益剰余金	37,487	37,420
自己株式	△1,315	△1,315
株主資本合計	46,301	46,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	416	533
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△112	△227
退職給付に係る調整累計額	△26	△4
その他の包括利益累計額合計	276	299
非支配株主持分	1,328	1,362
純資産合計	47,907	47,896
負債純資産合計	65,027	62,484

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	40,228	32,894
売上原価	32,036	25,987
売上総利益	8,192	6,906
販売費及び一般管理費	7,092	6,575
営業利益	1,099	331
営業外収益		
受取利息	37	25
受取配当金	15	14
仕入割引	26	21
その他	101	108
営業外収益合計	181	169
営業外費用		
支払利息	27	19
売上割引	6	2
為替差損	5	13
その他	52	34
営業外費用合計	90	69
経常利益	1,190	431
税金等調整前四半期純利益	1,190	431
法人税等	352	204
四半期純利益	838	226
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	739	193
非支配株主に帰属する四半期純利益	98	32
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	116
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△738	△90
退職給付に係る調整額	△6	21
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	△16
その他の包括利益合計	△789	31
四半期包括利益	48	257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△63	216
非支配株主に係る四半期包括利益	111	40

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2018年3月30日。以下「収益認識会計基準」という。)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2018年3月30日)が2018年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

なお、収益認識適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。